

Rotary International
2010~2011



地域を育み、大陸をつなぐ

中村ロータリークラブ

例会記録 (2010~2011)

会 長/岡 本 淳	創 立/昭和38年10月2日
幹 事/大 塚 和 助	例会日/水曜日 12:30~13:30
会報委員長/谷 岡 慶 一	例会場/新ロイヤルホテル 四万十 事務所/四万十市中村小姓町46番地 中村商工会館2F TEL 0880-35-4551 FAX 0880-35-4553 ●ホームページ http://www.nakamura-rc.com/

週報 No.2200

第2331回 平成23年2月2日 (晴れ)

本日のプログラム：会員スピーチ (池田義彦会員)
2月9日のプログラム：会員スピーチ (谷岡慶一会員・本田常晴会員)
2月16日のプログラム：IMの報告

【会長挨拶】岡本会長

- ・大変寒い日がつづきますが、皆様身体には十分お気をつけください。
- ・嬉しい報告です。本日から新しい仲間が増えました。エース保険の富永博様です。よろしくお願い致します。

【幹事報告】大塚幹事

- ・国際ロータリー本部より
国際ロータリーとロータリー財団の
2009~2010年度年次報告書
- ・ガバナー事務所より
2月のロータリーレート1ドル=84円
ガバナー月信No.2 全員配布

- ・ロータリーの友事務所より
「友」2月号 全員配布
- ・財)ロータリー米山記念奨学会より
昨年1年間に寄附された4名の会員へ確定申告用領収書
- ・社)中村青年会議所より
「新年名刺交換会」出席の礼状
- ・幡多薬物乱用防止推進協議会より
協議会だより第22号拝受
- ・四国電力(株)より
ライフ&ライフ2月号 拝受
- ・オクトンより
次年度テーマ幕の申し込み注文書



●本日のプログラム

会員スピーチ 池田 義彦会員



干支のお話

今日は干支についてのお話です。

これは私が近鉄時代に安岡正篤先生に講義を頂いたものです。先生は陽明学の第一人者であります。

本来干支は、暦学の一分野であり、又経験的、実証的な分野のものであります。「干」は幹で、生命エネルギーの内外対応方を10種に、「支」は枝で、生命細胞の分裂、成長、衰退、そして元の細胞に還る動きを12種に区分けしたものであります。これらを組み合わせて60に区分し、60で元に還る。私たちの生活はともすればマンネリに陥り易い。従って日なら60日、月なら60月、年なら60年に、自分を見直す機会とすることが良いことでありましょう。如何に強靱な人でも60年も経てば、疲労も重なり、沈滞も深くなるでありましょう。

「干」の第一の「甲」は、草木の芽が、殻を破って春に顔を出す様子を表す象形文字であり、芽が出たが外界の状況で真っ直ぐ伸びず曲がった状態「乙」となります。このように「干」は、エネルギーの突き上がっていく段階の状況を分類したものです。

一方「支」の第一の「子」は上に「茲」をつけると「孳」となり同じ意味でふえます。即ち細胞分裂し、発達成長して色々と組み合わせさせて組織・器官を作る。これが「丑」で糸偏をつけて「紐」。更にぐんぐんと発達していくのが「寅」。これは「演」と同じで「すすむ」の意があります。更に進んでいくと「亥」となり核で元の細胞に還る。このような循環から今年の干支を考えますと、今年は「辛卯」「しんう・かのとう」で、「干」の「辛」は「上」「干」「一」に分けられ、「上」は上への上昇を表し、「干」は求める・冒す、「一」は陽エネルギーを表し、今まで潜在していたエネルギーが、抑えていたものを撥ね上げ上に向かって発現する。すると闘争・犠牲・矛盾が生じ、つらい・からい思いをします。

「辛」は「庚」に較べ厳しい年になるということです。従いまして、齋戒・自新、即ち自分の心を改め、更新していかなければ下からの突き上げで、とんでもない



ことが起こるやも知れないということ
あります。

次に「支」の「卯」ですがこれは「ぼう」という音で草冠をつけると「萌」でいばら、かやの意がありこれが茂り、蔓延ると根がこんがらがってどうしようもなくなります。放って置くと訳がわからなくなり紛糾するのであります。根を断ち切って整理しなければなりません。扉を開いていくこととなります。この状態が「卯」であります。そうしますと摩擦が起き、痛みが生じ「辛」つらいに繋がっていきます。干支にはこのような見方があると頭のかたすみに置いて頂いてこの一年を過ごされれば、損は無いものと思います。

以上、ありがとうございました。



【新会員紹介】 推薦者：渡辺史則会員

氏名：富永博之

生年月日：1957年5月27日（54歳）

住所：四万十市安並3932-10

勤務先：（有）エース・保険

四万十市中村大橋通6-136

趣味：野球・ゴルフ・釣り



【ご挨拶】 富永博之氏

（有）エース保険の富永です。損害保険ジャパン代理店です。会員に顔見知りの方が多いので安心しました。伝統ある中村ロータリークラブに入会させて頂き、名を汚さないよう励みましましたので、よろしくお願致します。

【委員会・会員報告】 尾崎世界社会奉仕委員長

・ユネスコの提唱する世界寺小屋運動の、書き損じハガキ、未使用のテレホンカード回収にご協力頂きましてありがとうございました。書き損じハガキ8,370円、テレホンカード6,550円を送金致しました。

【ニコニコ箱】

岡本会長：新しい仲間を迎えることができました。

大塚幹事：盛大に還暦を祝っていただき、ありがとうございました。

荒井会員：先日は、心暖まる還暦祝い、本当にありがとうございました。

新田会員：長寿祝い、誠にありがとうございました。

田中会員：過日の厄、還暦、長寿祝いの席で乾杯の音頭をとらせて頂きました。

大杉(幸)会員：先日、厄除け、還暦、長寿の祝いが行われました。一藤親睦委員長他、委員の皆様お世話役、ご苦労様でした。

・東会員：マルサ醤油を戴きました。

池田(義)会員：訝しい卓話ですみません。

【出席報告】

- ・会員総数/46名
- ・本日の出席/35名 75.56%
- ・先週の訂正 M3 75.0%→81.82%



このテーマには2つの意味があります。1つは社会奉仕と職業奉仕の基本理念を理解し、地域社会をより住みやすく、働きやすい場所にする。もう1つは、国や大陸が異なる海外クラブと協力し、世界理解、親善、平和を広め、世界をより良い場所にする、ということです。

2010～2011年度国際ロータリー会長 レイ・クリンギンスミス